

国際化への第一歩

市民海外派遣研修リポート②



歩道橋に咲く花が植えられる徹底ぶり
片岡チイ子（出戸）

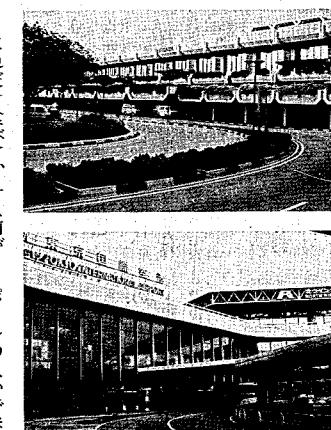
パンコクから空路四時間
独立二十五周年の新しい国
が、「クリーン、グリーン、
セイフティシティ」のシン
ガポールです。空港の外に
出てみたら、緑の美しさに
ほっとして、思わず深呼吸
をしてしまいました。

到着が夕方だったので、
さっそく直行したのが、シ
ンガポール庶民の味を楽し
める屋台街の「ニュートン
サーカス」です。シーフー
ド店、飲物店、果物店など
が百軒以上ひしめき合って、
活気のある屋台街です。
夕食は「ココナツジュ
ース、カニ、ロブスター、サ
テー、魚のつみれ団子など
九種類が次々と運ばれてき
ます。そこにマンゴー、ライ
チなどのフルーツが出され
ました。一瞬、テーブル
の全員が顔を見合わせます
が、いざ挑戦。結果は「ゼ
ひ一度は味わってみるべき」
と書いておくことにします。

**金髪で青い目だけ
が外国人ではない**

約千六百円とは信じられない安さです。

これだけ食べて、一人前が



緑と花に囲まれたシンガポールのチャンギ国際空港（上）に比べ、新東京国際空港（下）は文化の香りがない。

動物の診療・予防・検査・諸手術・入院
預り・健康管理（月曜日休診・急患随時）

ニイツ動物病院
新津市本町2丁目7番21号 ☎22-5976・24-6262
(総合結婚式場「一楽」より五泉方面へ200m左側)

電話一本で日本全国にお花をお届けいたします。
生花・造花・花器・鉢物
フラワーデザイン材料
(株)川名花店 イハナ
TEL (0250) 23-1187 (代)
営業時間/AM8:00~PM8:00 年中無休

緑の美しさに
おもわず深呼吸



シンガポールの象徴のマーライオン像

先号でもご紹介したように、昨年11月に行われた市民海外派遣研修では、韓国を経てタイ、シンガポールを訪ねました。タイは仏教を国教とし、その首都バンコクには、喧噪な街並みに対比するように伝統ある寺院（ワット）がいたるところで見られます。一方、シンガポールは、徹底したクリーン政策と緑に囲まれた環境で、世界的に有名な都市です。日本の商社・銀行やデパートなどもたくさん進出しています。

今号は、「ほほえみの国・タイ」と「緑の都市、シンガポール」を、山田和宏さん（新栄町）、片岡チイ子さん（出戸）のリポートでご案内します。



バンコクの街並み。日本製三輪車のタクシーが元気に走っている



伝統的建築と西洋建築の融合を進められたタイの王宮

十二月一日、韓国で市内観察を済ませ、その夜のうちにバンコクに向かいました。バンコクには、日本人学校の教師をしている友人がいます。彼ら夫婦に会うのも、今回の大きな楽しみの一つでした。しかし、バンコクでの滞在時間は、翌日の半日しかありません。

深夜一時頃ホテルに着き、その場で彼らの自宅に電話を入れ、ホテルまで来ても再会でしたので、真夜中の

三時過ぎまで時間を忘れて話込んでしまいました。

その友人と話の中で、

タイの国民性が話題になりま

した。彼によれば、タイの国民性は、次のようなタ

イ語の言い回しで表すこと

ができるそうです。

「マイペンライ」と英語で言うなら「Don't worry」。「気にしないで」というような意味だそうですね。たとえば、アパートのエアコンから水が漏れたの

で管理人に文句を言うと

「マイペンライ」とは答え、下痢をして病院へ行くと「マイペンライ」と

「これが東南アジアだ！」

は車優先社会ですから、車

やトランクなどは「おおらかな」国民性に反し猛ス

ピードで走って行きます。

その中を三人の大人が乗つ

たバイクなどが、所からまわ

ず割り込んでくる図は、

人々の日常の様子を垣間み

ることができます。タイ

の気候、風土が国によって

それぞれ違うように、そこ

に住む人もそれぞれ違うの

だということを、今回の海

外派遣研修旅行で強く感じ

ました。そして、そのこと

を理解し、違いを認めた上

で、国際交流の輪を広げて

いけたらと思います。

違ひを理解し

認めることが大切

医者に言われる、といった具合です。「ほほえみの国タイ」と称されるゆえんは、このおおらかな国民性のた

めなのでしょう。

翌朝、バンコクの王宮と

ちょうど通勤ラッシュの時

間帯に巻き込まれ、タイの

人々の日常の様子を垣間み

ることができます。タイ

の気候、風土が国によって

それぞれ違うように、そこ

に住む人もそれぞれ違うの

だということを、今回の海

外派遣研修旅行で強く感じ

ました。そして、そのこと

を理解し、違いを認めた上

で、国際交流の輪を広げて

いけたらと思います。



みやげ売りの子どもたちがバスに居る

混浴としたタイの方が私は好きになりました。

気候、風土が国によって

それぞれ違うように、そこ

に住む人もそれぞれ違うの

だということを、今回の海

外派遣研修旅行で強く感じ

ました。そして、そのこと

を理解し、違いを認めた上

で、国際交流の輪を広げて

いけたらと思います。

この後訪れたシンガポー

ルよりも、得体の知れない、

勘違いしたらしく、実はお

互いに日本人であることが

後で分かり大笑いです。

手振り。どうやら相手も

よくありました。英語で話

しかけたら、無言で「ノー」

の手振り。どうやら相手も

勘違いしたらしく、実はお

互いに日本人であることが

後で分かり大笑いです。

お互いに日本人であることが

後で分かり大笑いです。

</